

上総あいらいの郷
マスクの下は、

いつも笑顔で♡

副施設長 本吉みゆき
オンラインピックイヤーとなるはずの今年度は、「新型コロナウイルス」一色の一年となってしまいました。



上総あいらいの郷でも、手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス等の新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、できる限りストレスなく日常生活を過ごしていただけるように心がけ



ております。

ですが、密を避け外出・行事・面会の自粛が続き寂しさを感じる日々・・・

イベントとして企画される芋煮会、北海道フェア、手作りチャーシューラーメン、バレンタイン（女性ホームからのチョコスイーツ）など美味しいもので笑顔を取り戻しております。

クリスマス会では、スライドショーや職員メッセージ、花火映像など編集されたDVDを鑑賞しながら各ホームでクリス

マスの雰囲気味わい、例年とは違う形で楽しんでいました。

また、不慣れながらもオンライン面会を実施した際には、ご家族と久しぶりに顔を会わせ喜びを全身で表現する姿が微笑ましく、一変した生活の中でも様々な工夫から笑顔で過ごしたいと感じる瞬間でした。

支援・介護の現場では、利用者への安全安心なケアと職員の介護負担軽減に向けて、利用者個々に合わせたベッド・移乗用リフト等の導入を進めております。コロナウイルス感染予防対策のみならず、より良い生活環境の整備に引き続き取り組みでいきたいと思っております。



そして、マスクの着用が日常となり利用者・職員共に、会話は聞き取りにくく、表情も汲み取りづらくなりました。

そんな時こそ、スローガンである「マスクの下は、いつも笑顔で」を合言葉に、ソーシャルディスタンスは保ちつつ、心の距離は近づけ寄り添って支援をして

いきたと思います。

